

令和元年度 大規模災害時における処理困難物適正処理モデル事業業務 (釧路市)

釧路市において、災害に伴い発生する廃棄物、処理困難物の処理について調査・検討を行うとともに、想定される課題を整理し、災害廃棄物処理計画策定を目指してモデル事業を実施した。今後、関係機関とともに連携を深めながら、処理計画策定に向けた取組を進める。

モデル地域の概要と想定される災害

○モデル地域の概要



- ①地域の特徴**
釧路、阿寒川下流部の海岸平野に、釧路市の中心市街地が形成されており、津波のリスクが大きい。
釧路市は間に白糠町を挟んで、東西2つの区域に分かれている。
- ②平時のごみ処理状況**
焼却施設は、広域連合で中間処理。最終処分場は合併前に地区ごとに使用。新処分場を計画中。

○対象とする災害【地震】・厚岸沖の地震・根室沖・釧路沖の地震

災害廃棄物発生量等の推計

対象とする災害における被害想定結果を用いて、「災害廃棄物対策指針」や環境省本省検討会資料をもとに、災害廃棄物発生量等の推計を行った。

災害廃棄物発生量の推計結果

対象災害	災害廃棄物発生量(t)					合計
	可燃物	不燃物	コンから	金属	柱角材	
厚岸沖の地震	15.5	15.5	44.8	5.7	4.7	86.1
根室沖・釧路沖	4.0	4.0	11.7	1.5	1.2	22.4

片づけごみ・避難所ごみ発生量、仮設トイレ必要基数の推計結果

対象災害	片づけごみ発生量(t)	避難所ごみ発生量(t/日)	仮設トイレ必要基数(基)	
			片づけごみ	避難所ごみ
厚岸沖の地震		2,383	6.5	110
根室沖・釧路沖		1,287	3.5	60

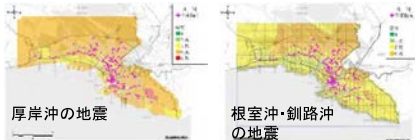
災害時処理困難物の発生量、発生場所の予測・推計

対象とする災害における被害想定結果を用いて、統計値やPRTR情報の公表資料から、災害時処理困難物の発生量、想定震度6以上の区域にある施設数を推計した。

災害時処理困難物発生量の推計結果、発生場所の整理

対象災害	災害時処理困難物発生量(t)		震度6弱以上の範囲の施設数(施設)	
	蛍光管	消火器	有機溶剤(ベンゼン)	燃料小売業者所有施設
厚岸沖の地震	17	8	27	21
根室沖・釧路沖	9	4	7	6

災害時処理困難物の発生場所
医療機関分布図



感染性廃棄物は、これらの医療施設から発生することが予測される。

仮置場の検討

災害廃棄物発生量等の推計結果を用いて、「災害廃棄物対策指針」や環境省本省検討会資料をもとに、仮置場必要面積を推計した。また、仮置場の選定方法、運営・管理方法について検討するとともに、平時のごみ分別区分を基本に、仮置場レイアウト案を検討し、災害廃棄物処理計画骨子案に記した。

仮置場必要面積推計結果

対象災害	住民用仮置場(ha)	一次仮置場(ha)
厚岸沖の地震	0.48	2.94
根室沖・釧路沖	0.26	0.77

令和元年度 大規模災害時における処理困難物適正処理モデル事業業務 (釧路市)

災害廃棄物の処理方法の検討

災害廃棄物の種類別発生状況や、既存施設の処理可能量推計結果をもとに、処理方法を検討した。

処理可能量推計結果

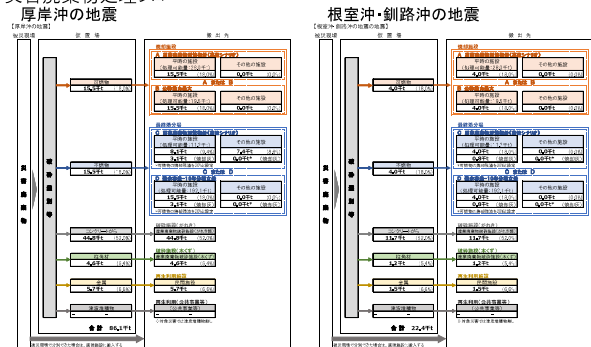
一般廃棄物焼却施設

施設名称	処理可能量(t/2.7年)			公称能力最大活用
	災害廃棄物対策指針			
	低位	中位	高位	
釧路広域連合清掃工場	—	14,000	28,000	3,100

一般廃棄物最終処分場

施設名称	処理可能量(t/2.7年)			残余容量-10年分埋立量
	災害廃棄物対策指針			
	低位	中位	高位	
新最終処分場*	2,700	5,500	11,100	169,200
阿寒町一般廃棄物最終処分場	100	100	100	22,900
未満	未満			

災害廃棄物処理フロー



可燃物：焼却施設で処理できると想定される。
不燃物：新最終処分場と阿寒町一般廃棄物最終処分場で処理できると想定される。
ただし、連合の構成自治体別の処理量を見込んでいない。
コンクリートから、柱角材、金属；可能な限り再生利用する。

災害廃棄物の処理体制

災害廃棄物については、主に、市民環境班が対応するが、庁内関係部局とも連携を図る。また、協定等に基づき、他自治体や民間事業者にも必要に応じて支援要請を行い、処理体制を構築する。

災害対策本部の構成



モデル地域で想定される発災時の課題及び対策

発災時に想定される課題	対策案
① 広域連合との連携 釧路市で発災した場合、被災状況に応じて災害廃棄物の処理量を広域連合の構成自治体など関係者間で調整が必要がある。また、近隣市町村で受入れが困難な災害廃棄物が発生する可能性がある。	平時から災害廃棄物の種類と処理対応を想定するとともに、処理先の確保について、情報連絡体制を整えるよう努める。
③ 冬の対策 釧路市で冬期に発災した場合、積雪や凍結により災害廃棄物の処理が困難になる場合が想定される。	大型テントの設置や防雪シートの利用などの冬期対策を検討するとともに、それらを実行可能な体制づくり(民間事業者との情報共有や協定の締結等)を進める。また、冬期の収集運搬・処理のスピードの低下を考慮した災害廃棄物処理実行計画を策定する。
③ 沿岸部で発生する処理困難物の対応 釧路市は、沿岸部に位置しており、漁業が盛んな地域であることから、腐敗性廃棄物や漁具・漁網等の処理困難物が発生することが懸念される。	特に腐敗性廃棄物については迅速な対応が求められるため、平時から処理方法・処理先を検討しておく。